

You are the salt of the earth and the light of the world



発行
洛星新聞局
京都市北区小松原南町
☎ (466) 0001
FAX (466) 0777
印刷/旬片桐軽印刷

卒業生の言葉

二〇〇六年一月十日金曜日、この時期にふさわしい寒さの中、本校の第四十九回卒業式が行われた。今回の卒業式では、卒業生代表の野崎健司君の答辞が出席者全員に大きなインパクトを与え、忘れられないものとなった。



学校長式辞

今日ここに、カトリック京都教区、教区長 大塚喜直司様を始め、ご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席のもと、第四十九回洛星高等学校卒業式を挙げてまいりました。心から感謝申し上げます。

四十九期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学園を代表して皆さん一人ひとりにおめでとうと申し上げます。皆さんは今日、洛星という学び舎から、新しい社会へと巣立っていきま

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

厳寒といわれた冬もようやく終わりにさしかかり、どこかで春の足音が聞こえる季節になりました。この春に、私たち四十九期生は旅立とうとしています。多くの先生方に教えを受け、保護者の方の助けを受け、学友達と励みあった、この学園、ここから卒業することとは寂しさを感じます。しかし、未来に大きな可能性が待っていることに、深い喜びもまた、感じています。思えば洛星に入る以前の私たちは、自分がこれから何を為すべきか、一つ一つ

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

「自由」とは、決して「勝手気ままであること」ではない。私たちは知っています。「自由」とは、「己の欲するところに従えども、他を越え」ない状態であると思っています。洛星での生活、授業やクラブ、そして「文化祭」や「体育祭」、「クリスマススタブロー」といった行事から私たちが学んだことを学んでいきました。もちろん、時に衝突し合うこともありました。けれど、同級生を始め、先輩や後輩や、あるいは先生方とも近しく過してこれた洛星での生活は私たちの宝であります。

皆様の心からの感謝の気持ちを申し上げます。有難うございました。これをもちまして、卒業生の言葉とさせていただきます。平成十八年一月十日

卒業生総代 野崎健司
(卒業生の言葉制作委員)
Aクラス 中田裕大
Bクラス 野崎健司
Cクラス 新津敬之
Dクラス 大野祐太
Eクラス 喜多良寿

「四十九期生の皆さんご卒業おめでとうございます」私達は先輩方の旅立ちをお祝いできることを嬉しく思います。私達にとって皆さんは、未来の先輩像として、自分もこんな先輩になりたい、後輩からこんな風に慕われないかと思える存在であり、多大な影響を受けました。

洛星高校を卒業されることで、私達の中には不安があります。また、自分たちが最前線になるという実感が湧いてきません。しかし、これからは先輩方の姿を思い返し、洛星の高三生として、この洛星高校を支えていこうと思います。

皆さんは洛星での学校生活にどのような思い出があるでしょうか。日常生活では、皆さんが勉強やクラブに一生懸命取り組んでおられた姿が私達の印象に残っています。特に文化祭やスタブローといった学校行事において、積極的に行事を作っていた姿や、一人一人が恒に動き続けて行事に関わっていた姿は、私達に大きな存在でした。

最後になりましたが、皆さんが私達の先輩として下さったことに感謝しています。皆さん、本当にありがとうございました。平成十八年一月十日
在校生総代 平井泰友



A組

お疲れ様でした。
相沢 翔太
健康な体で入学！入院は大変です。青木 崇倫
受験も終わったので言えていきましょ！浅野 喬之
勉強しましょ！
私もやります。坂東 秀紀
満足な豚より不満足な人間が良い。
福井 和哉
もう限界。
古田 雅典
公谷（顔）
公谷（タコ）
本田 遼平
カン、カン、カン、カン加藤 佐佳
水い間ありがとうございました。
石田 憲幸
苦悩を突き抜けて歓喜にたれ！
石川 遼一
やればできる
伊藤 巧観
六年間楽しかった。
下保 亮太
大学院では都心を目指しまし
河北 一誠

B組

合唱も体育祭も優勝できて良かった。
青木 謙太郎
いい出会いに恵まれました。
荒木 泰治
ゆず、ゆず、言うな！
浅井 勇吾
高校生活を卒業まで楽しんで下さい。
別役 翼
これから
出口 泰正
洛星で過ごしたことを誇りに思っています。
福井 真
がんばっていきましょ！
濱島 良介
洛星バレー部は、僕の誇りです。
長谷川 達也
我慢は禁物。やりたい事はやりましょ！
八田 直樹
火に油注いでばつカの6年やったなあ。
井上 雅隆
洛星高校に栄光あれえええええ！
井上 貴博
楽しすぎた。
入江 亮介

ツカナイ。境 一樹
無理っぽいけど、受かったか？勉強は。河村 浩人
卒業はできず。入学は気にするな。小寺 勝也
6年間楽しかった。
松田 大輝
僕の洛星での6年間は充実してて、
松村 大輔
セレンソもちょっと頑張れよ！
松長 泰典
ばいばい
残り余生、楽しもう！
門田 峻
いります。村上 友規
丹波先生、僕洛星の視察率王かも？
中川 順一
雨の日だって楽しいことはあるのに。
中田 裕太
そっか！奈良へ行く。
浪江 亮介
新品同様の参考書、売ります。
西村 隆佑
ゆずはいです。すね。歌も風呂にも。
岡本 紀夫
洛星生活の3年間は瞬間に過ぎ去った。
岡村 和弥
この瞬間を一生懸命に生きる。
面 大地
オケ部な6年と受験な1年は楽しかった。
大野 仁嗣
現役合格インディアンウソ
今年で受験終了希望。
笠井 啓史
洛星に来て人生変わったわ。
木野 寛生
高校の3年間は、あつというまだった。
岸本 弘嗣
『腐ったみかん』だつて食えんだ！
児玉 拓郎
今日も試験直前も、同じ1日です。
小島 俊吾
俺が行くまで待つてろよ、琢磨。
小坂 尚司
みんないい人でした。
楠本 真史
あなたの洛星色は何色ですか？
源 晃明
とても短い6年間でした。
滋賀国に、パスポートは、いりません。
宮脇 大典
来たれ新入部員。缶蹴り部主将より。
中野 竜輔
6年間楽しかった。
仁野 慎也
日本の宝に、なりた。い。
野崎 健司
18歳の高一のK君！がんばって！
小川 雅史

C組



ネットの世界は現実より夢がある。
濱川 慎章
。Oイマンは君さう元気を出して！
浜嶋 将司
気がつく大勢の友に支えられていた。
畑 玲央
学校行事にはいろいろ参加すべき。
廣瀬 崇人
洛星に入って良かった！
はす。笑
飯坂 理
何書くか考えんの忘れてた。
井上 祥吾
結局洛星は共学化しなかつた！
岩田 健史
6年間とても楽しかった。
加納 由貴
衝撃がなければそれは芸術ではない。
樺尾 匡人
先生も生徒も愛する洛星高（オレも！）
加藤 寛之
3年間楽しかった。
川上 敦司
人間関係の所青山あり。
河内 裕介
3年間楽しかった。
木下 翔平
高校3年間はすばらしい時間だった。
北川 貴之
3年間こそ楽しかった。
小林 達也
下ネタ禁止されたから書くことがない。
越本 時貴
何か卒業は出来たから良かった。
的場 俊
変化の多かった6年間で、松本浩司郎



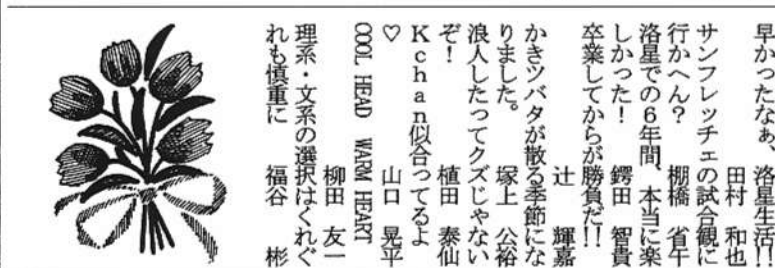
友と笑いあえた日々は永遠の宝物です。
安富 真道
あまりにも短い6年間で、吉田雄一朗
これを考え過ぎず、やることとやろう！
吉村 彰統
はやく十八才になりたい。
岡本 一輝
後悔する前に勉強はじめてほしい。
大仲 輝一
洛星高校：嗚呼、最高の学園。
折尾 龍司
個性を伸ばしたことを感謝したい。
佐野 新
楽しむこと以上に幸せな生き方はない。
島田 義規
洛星は本当に良かった、ありがとう。
新谷 修平
受験は辛くも有意義な時代だと思えます。
須原 宜史
3年間洛星に通えたことに感謝します。
住谷 拓人
人間は遊ぶ時にのみ完全な人間になる。
高橋 円
ホントに洛星で良かった。
竹脇 大貴
何事もなく青春が過ぎさり、京阪電車に揺られて毎日往復一時間。
田中 佑樹
最後が中山のB組でよかった。
照林 優也
六年間の男子校生活無事全う。
徳重 敏

夢は逃げない、逃げるのはいつも自分。
青木 健剛
Eじゃなければいいんです。
青山 龍平
四月より駿台に通っています。
健哲
何事も準備は早めに。
土井 貴裕
翔べ！！ベガサス
服部 祐規
速く積みゲを崩して飛びたい。
平田 祐輔
ボートピア連続殺人事件の犯人はヤス。
池田 悠馬
早く大学入ってバドしたい。
今津 伸一
ジュー、左サイドは俺にまかせろ！！
石河 慎也
うすぼんやりしている間に六年です。
岩谷 聡
今年には三連車を狙っていく！！
金光 拓也

洛星で、賢く生きる術を学びました。
片木 大輔
六年間得た物も多く充実した生活でした。
河林 莊実
知足
夢は逃げない、逃げるのはいつも自分。
青木 健剛
Eじゃなければいいんです。
青山 龍平
四月より駿台に通っています。
健哲
何事も準備は早めに。
土井 貴裕
翔べ！！ベガサス
服部 祐規
速く積みゲを崩して飛びたい。
平田 祐輔
ボートピア連続殺人事件の犯人はヤス。
池田 悠馬
早く大学入ってバドしたい。
今津 伸一
ジュー、左サイドは俺にまかせろ！！
石河 慎也
うすぼんやりしている間に六年です。
岩谷 聡
今年には三連車を狙っていく！！
金光 拓也

次の千円札に書かれるのは俺だ！！
野口 順平
過去よりも未来を見据えていきたい。
緒方 隆司
井上君には、がんばって欲しいです。
岡村 圭介
ちょっとと学ランが名残り惜しいかも。
大井 雄太
今の自分の頑張りは常に十分である。
大野 祐太
必要以上にきりめいて合掌。
大田 雄史
なんとかなるよ、人生は。
またライブを見にきて下さい。
田口 和哉
前期で合格してオルタをしよう。
竹内慎之介
6年間の遅刻と居眠りお許し下さい。
玉田 智啓
楽しく高校生活を過ごして下さい。
田中 和輝
センターには気を付けてよう。
田中康太郎
奇跡は起きるものではなく起こすもの。
谷角 峻

思い出のこもった「一言」ありがとうございます



四十九期生思いを一言に込めて

もう一回タブローしたかった。
松浦 啓
楽しかったかも。
村田 真悟
違います！デブじゃありません！
明神 聡介
高校の友は人生で一番大切な存在だ！
中川 弘巳
6年間、ありがとう。さよなら。
中野 仁天
意味のある生き方をしたい。
成宮 悠爾
玉岡、一生の別れ。
新美 雄大
後は自分次第。この6年は大さすぎる。
新津 敬之
世界一おもしろいことを言いたい。
西野 祐輝
綾部はさむかつたなあ。
小畑 圭亮
洛星来て良かったと心から言える喜び。
小笠原展樹
7年間もサッカーできてよかった。
佐々木 敦
檻の中の竜は、いつか天を駆け巡る。
里田 喬之

一日一善と一日一膳。
鹿野 雄介
3年間楽しかった。
白石 祐介
6年前に戻りたいと思うこの頃……
杉本 翔
五岡バイバイ！！
杉山祐太郎
暇があったらカールドセプトをしろ！
高田 和典
絶対結果を優先したくはない。
武山 拓史
パイとか言うの一生の別れみたいや。
玉岡 拓也
洛星、ありがとう！！
田中 正統
お世話になりました。
徳田 剛士
努力は自分を裏切らない。
辻 徳治
高田展示、OLC続いてほしいなあ。
上野 豪義
5年半はめいっばい遊びまくれ！！
山岸 勇毅
高校生活はあつという間でした。
山口 洋平

洛星で青春を過ごせてよかった。
土井 智貴
いろいろあったが、楽しい6年でした。
古田 智哉
これからはいろいろがんばります！
葉方 心平
タブロー照明パートをよろしくね！
半田 佑紀
放課後残って蹴った缶。
長谷川陽一
無理して泳がないほうがいいよ。
橋本十太郎
洛星って進学校、それとも神学校？
市原 亘
六年間、総電電乗車時間三千五百時間。
今中 啓介
大学に入らずんば、負け組入り。
石井 俊英
6年間ありがとう。さよなら。
伊藤 純貴
いやあ、ほんとうにお世話になりました。
西村 翔吾

になりました。唐井 貴久
あ、思い出ですか？缶蹴りですね。
勝間 祐輔
合格目指して一直線だね？
河本 晃輔
この6年間で新しい自分を発見した。
河野 奏
最後までいい人でした。ありがとうございました！
喜多 良寿
なんだかんだ言ってたかった。
洪里 征伸
身長のように成績も伸びたなあ。
松田 祐作
Love, love, love
森井 大介
今までもこれからも学校行事至上主義。
中川 直
人に勝つより自分に勝て。
中島 大貴
ラクシヨウホウシユウな洛星でした。
中島 浩斗
6年間楽しかった。洛星最高！
難波 嘉純
早く大学生になりたい。
西田 圭佑
セルビアモンテネグロ！！
西村 翔吾



H Ⅲ担任の言葉

ⅢA 丸山 貞



仲間同士で仲良く時間を費やして楽しむのが好きな生徒たちだった。もちろん人様々であるからそのようなかま開けに苛つき、心の中では背を向けていた人でも、たかもしれないが、心優しく、対立を好まない風流な人、多少は羽目を外す者、反目などが表面化すること、比較的少なかつたように思う。いささか手荒れというが、骨つぽさというか、力強さに欠けるような気も

ⅢC 田中 勉



四十九期生の皆さん、卒業おめでとう。皆さん、御卒業は六年間、君達を担任することができた。とてもうれしく思うと共に、君達が卒業してしまつて少し寂しい気がしています。今、洛星を巣立つて行くこととする君達に話しておきたい事があります。それは、自分の本当にやりたい事を見つけて欲しいという事です。正直な事を言つて自分が本当にやりたい事は何か、なんとなしにかつても見つけることが出来ないかも知れません。しかし、だからといって自分をまかしたり、適当にいい加減な事をして、いたずらに時間を浪費するのはや

ⅢB 中山 英治



精神だけが老化した青年は、口を開けば人生にチャレンジしない自分の生き方についていろいろ利いたふうのことをいうかもしれない。しかし、真実は、彼は人生を前にして足がすくんでしまつてゐるというごく単純なことなのだ。また、あらゆる失敗の可能性を忘れてゐる人は、いかに大胆に生きようと、無謀に生きてだけである。あらゆる失敗の可能性を見据えつつ大胆に生きて人こそ良く青春を生きたいというべきであろう。人生における最大の悔恨は、自分が生きたいように自分の人生を生きなかつたときに生じる。一見いかに幸せに見えても、それがその人の望んだ人生でなければ、その人は悔恨から逃れることはできない。反対に、一見みじめな人生に終わろうと、それが自分の思いどおりの選択の結果として招来されたものであれば、満足はできないが、あきらめはつくものである。……(和文訳演習Ⅱより)

「人生は選択」です。正しい選択をする力が求められます。正しい選択とは『善悪』『正誤』の判断だけではありません。『善いもの』『正しいもの』のなかから一つを選び出す判断がそれにもまして重要です。価値観が多様化したと言われる時代だからこそなおさらです。『善善の選択』は実は簡単です。良心の声に従えばよいのです。conscience (良心)は、「すべての人が共通して知っていること」なのですから。ただ、その声に従うかどうか大きな問題として残りますが、『善悪の選択』はそれよりはるかに難しいものです。以下の文を課題文として宿題にします。諸君の和訳と解釈をいくつか聞かせて下さい。

Every person who wishes to attain peace of mind must learn the art of renouncing many things in order to possess other things more fully. As young children, our wishes were sovereign; we had only to cry and the adult would hasten to fulfill our every desire. We knew, at the stage of development, very little about the postponement of satisfaction or the necessity of renunciation. But as we grow older we learn that every stage of human development calls upon us to weigh differing goods and to sacrifice some for the sake of others.

A philosopher once pointed out that the great difficulty in life does not so much arise in the choice between good and evil as in the choice between good and good. In early life, however, we do not realize that one desire can be quite inconsistent with another. The young boy may hesitate to choose among a dozen different plans for the future, but the mature man will have to renounce many careers in order to fulfil one. 卒業おめでとう。

ⅢE 篠原武志



四十九期生の皆さん、卒業おめでとう。君達とつきあつてきた六年間、色々な思い出を作ることができました。君達は、でんきのいい人達で、私はこの六年間、ほとんど不快な思いをすることがなくなりました。それは、他人の気持ちに配慮することができるといふ、人間としての重要な資質を君達が多く持つていたからなのでしょう。君達の保護者の方々に感謝しなければなりません。さて、高校一年生のとき、村上春樹の小説と一緒に読みました。彼の小説で、(村上春樹の長編の中ではあまりメジャーではないのですが)、『太陽の東国

境の南』というのがあります。中味の紹介は、読む楽しみを奪うといふので、ここではあまりしません。でも、その中では主人公である語り手は、自分の想念が作りだした「幽霊」といふべき存在に翻弄されています。この一年間、私は君達に「『他者』に出会え」と説いてきました。「『他者』」という言い方をしたのは、それを理解する以前に、そういうものが存在することをまず知ることが大切だと思つたからです。私は君達ではありませんが、君達の親・さんも君達自身ではありませぬ。これは当たり前のことなのかも知れませんが、そこに気づいていくという事は、どこか砂を噛むような寂しさ、私の場合は、伴うのです。それは、先づ、村上作品の例でもわかるとおり、自分の内部にも「他者」と名づけてよいような存在は、厳然としてあるでしょう。それが「羅生門」の下人の場合はサンチマンタリズムと密接に繋がる悪に惹かれ

る心だつたのでしようし、「山月記」の李徴の場合は「虎」であり、「ころも」の場面は、「区」や「先生」を自殺に追いやるたものであり、「舞姫」の場合は、エリスを「欺き」ながら、「良友を憎む」といふ言えないことにつながる部分なのでしよう。そんなことを言ひかけて、六年間かけて教えていた自分が何やら可笑しくもあり、しかし、私は「他者」を洞察する力こそが、君達が、君達自身の力で生きていく力になると信じています。私は君達の「学び」がどこかで、「他者」につながる、どこかで、さらにそのむこうにある、「社会」を切り拓いてくれるものであることを願っています。

卒業生へのメッセージ

ⅢD 石川康浩



新卒業生の皆さん、おめでとう。今、高校を無事卒業した安堵感、次のステップに向かつての期待と不安を感じていることだと思います。実は、私がスタート地点なこともありません。君達がこれから自分の力で未来を切り拓いていくべく、その中で、洛星で学んだ事が少しでも役立って、くれれば、こんなうれしいことはないと思います。『オンリーワン』になれるのだと思います。私の尊敬する数学者が、

大学へまた大学院へと進学され、その後仕事を通じて一社会人としての自己実現をされることを願っています。ぜひこの洛星での生活の中で得られた能力や価値観を最大限に活かして、今後の学生生活や社会人としての生活をより豊かなものにしていかれることを願っています。また、同じ卒業生として願つて止みません。私が洛星を卒業してから、のたつた二十五年前にも世の中は大きく変化してきていました。経済ではバブルとその崩壊や相次ぐ銀行の破綻、政治では社会党の総理の誕生、宗教ではオウム真理教の地下鉄サリン事件、自然災害では阪神・大震災、スポーツではサッカーのワールドカップ出場や阪神の優勝など、どれも

高校を卒業するときには予想できなかったことばかりでした。医学や科学技術の進歩と遺伝子工学の研究が進むことは予想されましたが、その結果、電話・カメラ・ビデオ・ナビ・辞書・手帳・モバイル等の各機能を備えた携帯電話が、電話機・0円で作れるようになり、遺伝子治療やオーダーメイド医療が行われ、ゲイになる遺伝子が見つかったりといふことまでは想像できませんでした。そんなときこそ卒業アルバムを開いてこの洛星での生活を思い出して、その中から前向きに意欲を持って取り組むための自分なりの「希望」を見つけてください。最後になりましたが、四年間連続担任という私の教師生活において最初で最後(？)の長く密な付き合い

追伸 皆さん四十九期生の卒業写真は、くしくも私二十四期生の卒業写真の真下に飾られています。次に来校したときにはぜひ一瞥ください。ただし、石川の下はいやだとな掛け替える等の幼稚ないやづらは絶対しないようにお願いします。(念のため)

保健・体育科 西野 文雄 先生
数学科講師 河合 悠介 先生
国語科講師 福田英利子 先生
理科講師 康村 博宣 先生
宗教科講師 菅原 友明 先生
保健・体育科講師 高橋 祝雄 先生
保健室 野宮 恵 先生
西野先生の原稿を4面に載せています。長い間、御指導・御鞭撻ありがとうございました。



退職される先生から

硬式野球部誕生を懐かしんで...
(洛星野球の原点を想う)

西野 文雄



昭和四〇年四月、私は大きな期待をもって本校の体育の教員として着任しました。着任と同時に中・高の野球部を指導することになり、その年の夏に当時の校長先生アール神父様に、高校は硬式でやらせて欲しいとお願いしたところ、神父様はニコニコと笑いながら「よく頑張っていますね。そう言ってくれると思っていまして。しかし、こんなに早く言ってくれるとは思っていませんでした。」と、またニコニコ... 私はその笑顔と話しから、もしかし、OK、と言ってくださるかと胸がドキドキしたのですが、答えは「硬式は危険がいっぱいいっぱい。それに設備もない。」というもので、NO、でした。しかし私は、多くの高校球児にとって甲子園が夢であり、同じ野球をやるのなら硬式をやりたい、と強い思いを持っていましたので、何とか軟式でよい結果を出してそれからまたお願いしようと思ったのでした。

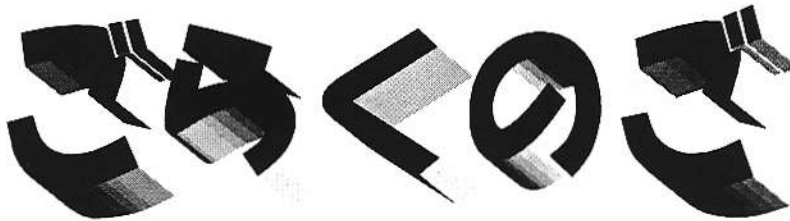
当時、私は幸運にも私と一緒に入学した一四期生の授業(中学一年生)を担当することになり、野球部に入るよう声をかけたところ、一八名もの生徒が入部してくれました。彼らの頑張り、洛星中は秋ベスト8、春ベスト4、夏は準優勝と戦績を上げ、負けたのは平安中学校だけでした。そこで再び準優勝の勢いで校長室をノックしたので、やはり今回は認められ、私が洛星に入る前の、ろいろの不安の一つ(進学校だから...ムリ?)が頭をよぎりました。

その後、このチームの主力が殆どが高校に進んだ秋の新人戦で初めて宿敵の平安高校を破り、うれしい初優勝を挙げたのです。私は願ってもないこのチャンスに、今まで一番強い気持ちでお願ひに行っていたところ、神父様は前回と同じようにニコニコされ「先生がいつ来るかと待っていました。」とおっしゃって私の手を強く握り「硬式野球を認めましたよ」と言ってくれたのでした。私は嬉しさのあまり神父様の手を強く握り返したのを昨日のこのようによく覚えていてます。ただし「練習は週3日、硬式野球部のための特別のお金は出せない」という二つの条件がついており、校長室で誓約書を書きました。

次は保護者に対する説得です。保護者会では私の気持ちを説明しましたが、やはり校長先生と同じく、危険ではないかと学校からお金が出ないかと無理ではないかと等々の意見が多く、すんなりと受け入れてもらえませんでした。しかし、何とか説得し、念願の硬式野球部創部となったのです。昭和四三年十一月のことでした。それからが大変で、グラ

私はこの3月で定年を迎えますが、心の通じ合う生徒たちと四一年間のながきにわたり、洛星で監督・部長をできたことは本当に良かったと思ひ思ひしています。

笑顔が印象的だった今は亡き校長アール神父様に感謝しつつ...



「タテのかぎ」

- 1. 二〇〇二年オリンピックの開催地
- 2. 今話題になっているパズルゲーム
- 3. 労働者が上司に対してする運動
- 4. バンドにおける歌手
- 5. 火災が起きます。ガソリン
- 6. イタリアの中
- 7. テロを起こします人間がモノをほしがること
- 8. ブランド名、モトラッドの名前
- 9. 〇〇〇は打たれる曲の歌
- 10. 滋賀県所在地
- 11. スイスカメラメーカー
- 12. 江戸時代の法令から

1		37				2		38		3			36
				4		60		5				6	
7			40				8						
					9				41		10	55	
		11					12						
13					14						15		
		16		42				17		43			
18				19	44	45		46				20	47
21				22					23		49		
					24			50					
25	51		61		26					27			52
			28	53			29			30			
31		56				32	57		56				
		33							34				
35					36								

「ヨコのかぎ」

- 1. 声楽などにおいて高音部を担当する
- 2. エンターテインメントの略
- 3. すずむしにそっくりです
- 4. 緑と黒のシマシマボール
- 5. カツオの妹
- 6. 可能で無いです
- 7. 毒で有名な花
- 8. これをすると突っ込まれます
- 9. 植民地、スペースノイド?
- 10. 馬で引っ張りますが
- 11. こげつきをふせぎます
- 12. サラダの一種
- 13. 北海道東部
- 14. 古い。〇〇〇〇線。電車
- 15. ドイツ人ゴールキーパー
- 16. ふたご草の真名。〇〇〇草
- 17. 西アジアの国。首都アンマン
- 18. 七福神の一人。漢字でも3文字
- 19. 世界一を記録した本
- 20. 死
- 21. 経路
- 22. 泳ぐのをやめると死ぬ魚
- 23. 忍者が使っていました。小さい投げ用の武器
- 24. 岩登り
- 25. 高級な焼肉
- 26. 〇〇〇ヨーカドー(店名)
- 27. 口の中の液体
- 28. 台詞「ご主人様、おかえりなさいませ」
- 29. 〇〇に栄光
- 30. 子供を生むアリ
- 31. ヒューザーの社長
- 32. 汁物をすくうのに使います
- 33. 板ばさみを英訳せよ
- 34. ロスアンジェルス略称
- 35. 宗氏がいました(江戸時代)
- 36. 〇らエモンに登場する。歌がへたくそ

編集後記

グラ・タイプラスト広域放射線! Dボウイ
いつまでも純粋な少年ならよかったのに。

(ワイヴァント)

新聞を書くのは始めてだったりする。新聞を書きながら、いろいろな事を知った。赤い星とか火消しの風とか、今夜は月が出ているのだから、ついでに言うところ、マス

ター・ア・アと誕生日一緒(奇勲戦士カレンダール)自分も少し変です。でも、周りの人はもっと変です。

「逃げる人、避ける人」ヤッター、編集オウターゼー。昨年より、「オメドトルルラギッタンデイスカー」などと呼ばれて、エクスカリバー、ベルレフォン、カリヴァーン、ゴッドハンドオオオ、黒いセイバはカッコーイゾー(さくらん中)さあ、帰りますよ!

ところで(正気)ウエブサイト「黒い魔軍」において、小説「魔導師のヤカイ」を連載していますから、来て下さい。

どうも、新聞作成2回目の者です。高校生は一人、仕事はほとんど一人、やっとなんか... 面白いや、次の発行には関わらないつもりだし。次は後輩に任せるから。

しかし、なんでこうも発行の準備をする期間がテス

ト前とかぶるかな? 何のは陰謀か? (ただ単に、準備不足と、やる気のなさか原因だ!)

つ。こいでマジメなお話を

今回の卒業生の言葉はすごかった。作成委員会まであるとは...。こういった名文をこの洛星新聞という形でこの世に出るのは、とても光栄なことだ。今後もこの洛星新聞が生き残れることを祈っています。

ちなみに、ここにはある問題が発生しています。(また同じような話だ。)

後輩がほとんどオウケストラ部だ。オウケ部じゃないのって俺だけ。これはけつこう重要な問題である。なぜなら、皆一斉に新聞局の仕事ができなくなるからだ!! というところで、新聞局員はいつでも募集集中。不定期だけど、熱意がある奴は来てくれ!!

最後に、心のさけびを一つくれてお別れです。「新聞局のP.C. (デジタルメス) 欲しい。」(ドラクエの魔人)

スタッフ

局長(仮) H I B 武藤 正吾

局員 M M 2 A 石田 悠

M M 2 B 栗本 英彰

M M 2 B 中川 拓紀

顧問 萩野 一茂

子安 克美